

登山学校レポート(第7回講習)クライミング講習

【福岡勤労者山岳会・田中敦典】

◎日程及び場所

11月12日(土)日向神八女津姫スラブ

11月13日(日)雨天のため、リフレスおおむたクライミングウォールに変更

クライミング講習を終えての自分にとっての課題と目標は、特にマルチピッチクライミングにおいて、どんな状況においてもロープワーク、ビレイ、支点構築等を安全に確実にできる知識と技術を身につけ、身体で覚えることである。

今回の講習において、危険・安全管理・禁忌行為等についてセルフチェック、相互チェック、ボルト支点の種類等をおさらいすることができた。また、ビレイやリードクライミングにおけるヌンチャクの向きや掛け方、回収方法について再度学ぶことができた。さらに手繰り落ち、ロープのすっぽ抜け、結び替え等について新たな知見を得ることができた。特に結び替えについては、壁の上部で行う作業であり、一歩間違えれば滑落してしまうという絶対に失敗できないものなので、確実にこなせるよう身につけたいと思う。いずれの知識も技術もただ教えていただいただけでは、身についたとは言えない。実際の場面で行い、身体で覚えてしまうまで練習を重ねるしかないと思っている。

クライミング分野での所属会における今後の活動目標は、上記のことが確実にできるようになるよう、先輩クライマーに継続して学び続けることと、会の中でクライミングの輪を広げ、お互いにクライミングを学び合いながら共に向上していくことである。そしてできれば県連登山学校で学んだものを会に還元していきたい。クライミング技術はあくまでもアルパインクライミングのために必要な技術の一つと捉えている。したがって今後アルパインクライミングを行っていくためには、マルチピッチのクライミング技術の完全習得は必須である。そのための活動を重点的に行っていく。

県連登山学校においても、このようなマルチピッチのクライミング講習をさらに増やしていただき、講師の方々の元で実際に受講生が支点構築等を行って、それに対して指導していただく機会が増えれば有難い。単に見せていただきながら説明を受けるだけでは身につかない。実際にどれだけ自分自身で体験し、指導内容を実感するかだと思う。そんな経験ができる場を増やしていただければと思う。

今回は天候の関係もあり、二日目が室内壁での講習になってしまった。しかし、一日目のリフレス大牟田での夕飯では、講師の先生方にピザを焼いていただいたり、皆で鍋を作ったりして懇親を深めながら、色々な情報交換をすることが出来て、大変有意義な二日間となった。改めて講師の方々と受講生の仲間に感謝したい。

